

事務事業名		道の駅たたらば壱番地管理事業		所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	産業施設グループ	課長名	安部昭彦
	施策名	〈38〉観光の振興		担当者名	佐藤保興	電話番号	0854-40-1093
	目的対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。		(内線)	2421
	基本事業名	〈117〉受け入れ施設の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	観光施設管理事業	
目的対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。	0 1 3 5 0 1	項 目 中事業	道の駅たたらば壱番地管理事業	
				0 5 2 0 2 2	業 業		

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・指定管理業務 ・駐車場誘導警備及び仮設トイレ対策等連立対策の実施 ・合併処理浄化槽の水質検査、污泥引抜等維持管理業務 ・除雪機配備、落雪対策等の冬期間対策の実施
指定管理者	一般社団法人たたらば壱番地郷栄会
指定管理期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日 (3年間)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) ①指定管理者との基本協定、年度協定の締結 ②指定管理料の支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリングの実施 ⑤繁忙期、降雪期対応 ⑥排水処理施設対応、状況確認 ⑦施設修繕 3件	30年度計画(30年度に計画する主な活動) ①指定管理者との基本協定、年度協定の締結 ②指定管理料の支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリングの実施 ⑤繁忙期、降雪期対応 ⑥排水処理施設対応、状況確認		
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)
ア	契約件数	件	H28～所管変更 40	25	20
イ	支払件数	件	H28～所管変更 56	40	35
ウ	指定管理者協議	回	15	10	12
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	①市民 ②市外からの入込客	ア	日本の人口	千人	127,094	126,933	126,706	125,236
		イ	人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		ウ	観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	①②利用できる	ア	利用者数(レジ通過者)	人	474,072	406,558	375,844	400,000
イ		観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0	
ウ		総体的な売上	千円	478,533	412,949	383,353	400,000	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【指定管理料】5,311千円 【消耗品費】681千円 【修繕費】555千円(3件) 【手数料】416千円 【委託料】3,235千円(指定管理料を除く) 【負担金】211千円(連結料)	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	13,011	13,125	10,409	11,842
	事業費計(A)	千円	13,011	13,125	10,409	11,842
	人件費	人	2	2	2	
	正規職員従事人数	時間	600	600	200	
	延べ業務時間	千円	2,348	2,380	815	
	人件費計(B)	千円	15,359	15,505	11,224	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・H27年3月の中国横断自動車道尾道松江線全線開通、H28年4月の菅谷たたら日本遺産認定、TWILIGHT EXPRESS瑞風の運行開始により、県外からの施設利用者のさらなる増加が見込まれる。	・繁忙期の対策として、関係機関協議、臨時駐車場増設。 ・降雪期の対策として、除雪機配備。 ・年間をとおして排水処理施設機能の継続的な改善対策を行った。 ・別事業で排水処理施設改修に係る事業を実施した。	・議会から施設を拠点とした高速道路利用者の市内への入込み増を求められている。 ・関係機関から観光情報の提供や地域情報の発信について、指定管理者と観光関連施設、市、関係団体等との連携が重要との意見がある。 ・指定管理者から施設機能増強の要望がある。

事務事業名	道の駅たたらばき番地管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																						
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																							
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																						
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																							
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設における産直市、観光事業及び地元産物の取扱いを通じ、さらに地域経済への波及効果が期待できる。また、市内への誘客を促す拠点としての役割が求められることから、情報提供のみならず、市内への観光案内なども含めた対応も観光協会等との連携により可能となる。																					
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																							
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	中国横断自動車道尾道松江線・雲南吉田IC沿いの道の駅であり、高速道路利用者を通じて市内の観光振興に寄与しているとともに、産直市や地元産物の販売により農業振興や地元雇用にも貢献している。																				
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																							
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段(類似事業名))		観光情報や地域情報の発信に係るイベントや周遊コース、PR媒体等での共有や連携																				
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		市内の道の駅や観光関連施設の機能を有効に活用し、指定管理者、関係者、関係団体等との連携を強化し、観光情報等の情報発信を充実、拡大させることで、市内への入込客の増加、観光振興が図られるため。																				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																					
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		中国横断自動車道尾道松江線沿いの道の駅として施設利用者数が多く、施設維持管理に係る経費や、駐車場対策経費、連休、繁忙期間の対策経費を含め事業費の削減は困難である。																				
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																							
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	駐車場対策経費、連休等繁忙期対策、除雪対応など、指定管理者への補助業務も含め、業務が多岐にわたるため、人件費の削減は困難な状況である。当面、年間を通じて浄化槽等の施設維持管理に係る調整が必要であり、人件費の削減は困難である。																					
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		中国横断自動車道尾道松江線利用者を中心に不特定多数の利用が可能施設であるため公平・公正である。																				
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																					
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		当施設が、今後も多くの施設利用者が見込める状況にある中で、指定管理者が、参画事業者や市、関係団体等と連携し、施設機能を有効に活用し、各種イベント等自主企画事業の実施や、積極的な観光、地域情報の発信と、市内の産業振興に資する事業展開がさらに必要である。																				
3 今後の方向性【PLAN】	① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																					
	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																							
<p>・現況と今後の施設利用者(見込み)に適切に対応できる施設管理・運営を継続して実施する。また、連休や繁忙期における駐車場、トイレ等の対策については、現状を把握しながら、利用者へのサービス向上に向けた改善を検討し、対策を講じていく。</p> <p>・利用者に対する市内の観光情報の発信や各種地域情報の提供は、対面的な接客と案内が望ましいため、指定管理者(駅長他)と市、関係団体等が連携し、パンフレット等の媒体を有効に活用しながら取り組みを進める必要がある。</p> <p>・同道の駅を拠点として、市内の観光関連施設との連携や関係組織とのネットワーク構築等を図り、地元商品・産品、農林産物の販売拡大も検討しながら、地域全体へ経済効果の波及を目指す必要がある。</p> <p>・国交省トイレ供用開始に伴い道の駅側合併浄化槽の負荷の軽減が図られたが、処理が追い付かない状況が継続しているため、引き続き浄化槽の適切な維持管理に努め、抜本的な改修を別事業で行っている。</p>			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				